



# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

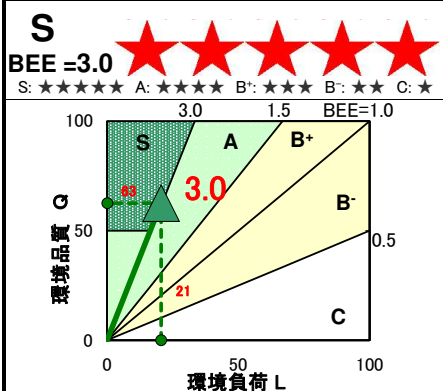
## 1-1 建物概要

建物名称	(仮称)ザ・バック株式会社本社建替		
建設地	東成区東小橋2丁目		
建築用途	事務所、工場		
建築主	ザ・バック(株)		
設計者	(株)竹中工務店		
敷地面積	1,689.89	m <sup>2</sup>	
建築面積	882.09	m <sup>2</sup>	
延床面積	5,025.59	m <sup>2</sup>	
構造/階数	S造	/	地上7階
完了年(予定)	2023年3月		

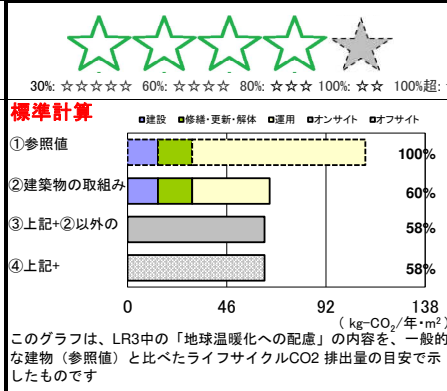
## 1-2 外観



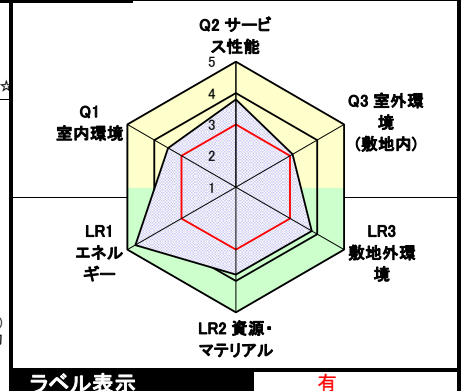
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

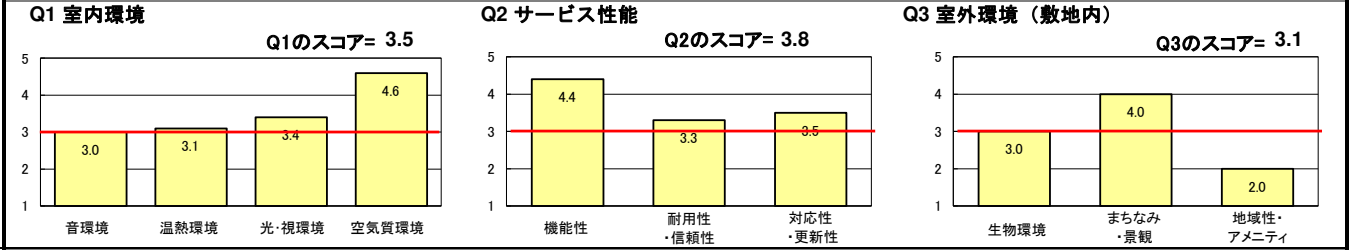


## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

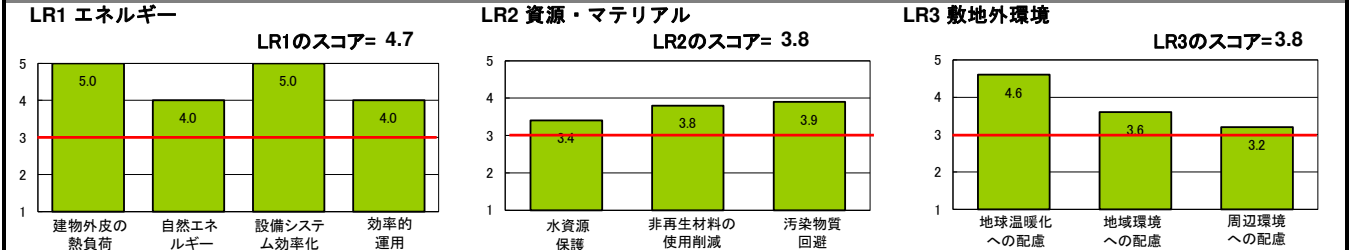


## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

### Q 環境品質



### LR 環境負荷低減性



## 3 設計上の配慮事項

<b>総合</b> 空調熱負荷に配慮した外皮計画、環境に配慮した資源を使い、安全で快適に過ごせる建物を作ろうとしている。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆☆を全面的に使用することで、室内環境の品質を高めている。	<b>Q2 サービス性能</b> 事務室についてはOAフロア高さを100mm、天井高3,800mm確保(直天部)し、サービス性能を高めている。屋上機械置場は、余剰スペースやメンテナンススペースを大きく確保し、フレキシビリティに配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建屋周囲及び、前面道路境界に庭を設け、緑化面積の確保に配慮した。前面道路側には柵等を設けず、緑地がそのまま敷地周辺へ解放されることを意図した。
<b>LR1 エネルギー</b> BPI0.66。 BEI0.43。 BEMS装置の導入によるエネルギー監視の採用。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 建屋全域においてリサイクル材料の使用、有害物質を含まない材料を使用した。建物全域において躯体と仕上げが分離可能な材料を用いることで、廃棄・改修時のリサイクル性に配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> ブラインド設置によるグレア対策の実施。駐輪場や管理車両スペースの確保等による交通負荷抑制。

## 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 3.0

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮
4.6	
配慮事項	LCCO2排出率58%

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出
3.0	
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上
3.0	
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善
3.0	
配慮事項	できる限り緑地を設けた

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制
5.0	
配慮事項	空調熱負荷に配慮した外皮計画

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化
5.0	
配慮事項	BEI=0.43

## 省エネルギー基準計算結果

基準  
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)  
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能

住宅部分 (品確法等級)

-

(相当)

非住宅部分[BPI][BPI<sub>m</sub>]

0.66

建物全体[BEI][BEI<sub>m</sub>]

一次エネルギー消費量

0.43

住宅部分[BEI]

-

非住宅部分[BEI][BEI<sub>m</sub>]

0.43